

主要施策 取組み 目標設定・進捗状況確認シート（青シート）

点検項目				
ビジョン	教育ビジョン：自ら学びをデザインできる学生を生み出す			
	I. 予測困難な時代を生き抜く力の涵養			
中期計画	1. 初年次教育の充実と教養教育の改革			
主要施策	(2) 全学共通科目(外国語科目・広域科目)の在り方の検討			
管理責任者	教学(教務)	⇒	担当会議	全学共通教育委員会
担当責任者	学長執行部(教務)		担当組織	教務部

教学・法人	教学
-------	----

※「**教学**」系の主要施策のシートは【**担当責任者**】へ提出してください。

※「**法人**」系の主要施策のシートは【**管理責任者**】へ提出してください。

当該年度の「自己評価」の基準

- 4：目標達成のための活動が行われ、明らかに目標を達成している。
- 3：目標達成のための活動が行われているが、目標の達成は十分ではない。
- 2：目標達成のための活動が十分ではなく、目標の達成も不十分である。
- 1：目標達成のための活動が行われておらず、改善すべき点が多い。
- ：現時点では評定できない。

取組み⑤	取組み	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)の導入・充実										
	年度	<input type="checkbox"/>	2019年度	<input type="checkbox"/>	2020年度	<input checked="" type="checkbox"/>	2021年度	<input checked="" type="checkbox"/>	2022年度	<input checked="" type="checkbox"/>	2023年度	
	指標	科目・プログラムの設置状況、履修者数、学生の理解・満足度										
< 凡そ200字以内の文章でお書きください >												
2021	現状および成果	全学共通教育委員会にて検討・協議を重ねた結果、プログラム対象科目として、2021年度秋学期に「共通特殊講義(データサイエンス概論)」を新規に2コマ開講し、プログラムを開講した。 本学WEBサイトにおいて専用ページを作成し、学内外への周知も実施した。 初年度の履修者数は計66名。 学生の理解・満足度については学期終了次第、単位修得状況、授業評価アンケート、授業内アンケートにて測ることとなる。 また、カリキュラム改正を行い、2022年度より「データサイエンスと数理」科目群の設置、「データサイエンス概論」として同科目の正規科目化を決定した。							(文字数)	270	自己評価	4
		根拠資料	WEBページ(https://www.osaka-ue.ac.jp/education/data_sci_edu.html)、2022年度履修規程別表1									
	問題点	今後も全学共通教育委員会の中で審議を進めていくが、プログラムを改善・進化させるための特化した体制の設置・検討が必要となる。 また履修者増のため、コマ数増、講師の確保等も課題となる。							90			
	次年度計画	アンケート結果等も見ながら、学生の理解・満足度向上のため、プログラムの充実をはかる。あわせてこれらに特化した体制構築の検討を行う。										